

浅草寺五重塔

浅草寺（東京都台東区）五重塔でチタン成型瓦への葺き替え工事が終わり、13日に現地報道向けの内覧会があった。1973年以来44年ぶりの改修。同じ敷地内の宝蔵門と本堂に続き、清水建設が主導し、新日鉄住金製のチタンを金属屋根の製造販売工事、カナメの喜多方工場で作型した「カナメ段付本瓦葺き」を採用した。

総工費は6億円。五重塔は塔高が53・32層（基礎部分含む）に対し、屋根の工事面積が

チタン成型瓦に葺き替え完了

報道向け内覧会を開催

約1553平方層に上

枚に葺き替えた。

チタン建材の優位性

と採用の決め手を説

る。チタンの使用量は約8ト。昨年7月から今年5月にかけて、カ

や、微妙な濃淡を醸し明。2010年11月に葺き替え工事が完了した本堂で、「東日本大震災の発生時に一枚のズレや落下もなかった」との挿話を交え、

ナメに所属する福島県カナメが記者会見を開催。素材メーカー、設

計・施工、屋根製造・築専門の板金職人たちが、従来のアルミ合金瓦から板厚0・3ミリのチタン成型瓦5万7千

上層部から望む屋根の様子（奥は本堂）①。軽量で高耐候性、安全・安心を導く



会見する守山 執事長②ら

また守山執事長はチタン成型瓦がもつ「長く維持できる」耐久性を評価していることを踏まえ、「メンテナンスフリー」や「素材の統一感」につながる利点を挙げた。

五重塔では今年9月ごろにかけて残る外部の改修工事を終え、新たな装いを披露する。